

ニッペ 水性シルクシーラー厚膜

塗り替えをスピーディーにより美しく変えます！
超平滑、シルクのような仕上がり感が上塗りの性能
(つや、耐候性) を最大限に引き出します。

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

JIS A 6909 建築用仕上塗材
複層塗材E/RE/Si 下塗材 相当*
*該当規格の性能を満たしています (社内試験)

特長

- ①省工程** シーラーとフィラーの機能を兼ね備え、密着にすぐれ、省工程での施工が可能です。
- ②超平滑** キメ細かい(超平滑)ので、上塗りの吸い込みが少なく、光沢のある仕上がりが得られます。ローラー施工での発泡がなく、かぶり・仕上がり感にすぐれ、美しく仕上がります。
- ③微弾性機能** 微弾性機能があり、施工後のヘヤクラックに追従し、すぐれた目止め効果があります。
- ④木部の下塗り (塗り替え)** 密着性、充填性、微弾性を活かし、破風など木部の下塗りとしてご使用いただけます。
- ⑤環境配慮** 低臭で、さらに有害な重金属類を含まない環境配慮形塗料です。
- ⑥防藻防かび** 藻・かびの発生を防ぎます。

■ 標準塗装仕様 (塗り替え) オーデフレッシュSi100Ⅲ仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペ水性シルクシーラー厚膜	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	はけ ウールローラー
上塗り	オーデフレッシュSi100Ⅲ(※)	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレススプレー

■ 木部塗装仕様 (塗り替え) ニッペ1液ファインウレタンU100仕上げ

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	よごれ、付着物、やになどをサンドペーパーで除去し、節および周辺はラックニスを塗付し、やに止めを行う。						
下塗り	ニッペ水性シルクシーラー厚膜	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	はけ ウールローラー
上塗り①	ニッペ1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	3時間以上	塗料用 シンナーA	3~8	はけ ウールローラー
上塗り②	ニッペ1液ファインウレタンU100	1	0.12~0.16	-	塗料用 シンナーA	8~13	はけ ウールローラー

注) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

注) 旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

(※) つや有り、7分つや有り、5分つや有り、3分つや有り、つや消しから選べます。

*カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

ニッペ水性シルクシーラー厚膜

適用下地

- コンクリート面(現場打ち)
- モルタル仕上げ面
- ALCパネル
- 塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜)

適用塗装系

上塗り=オーデフレッシュ共通中塗+オーデフレッシュF100Ⅲ・
オーデフレッシュSi100Ⅲ・オーデフレッシュU100Ⅱ
ニッペ1液ファインウレタンU100 など

色相と容量

ホワイト
15kg

性能

JIS A 6909にもとづく性能

試験項目	規 格	性 能	
低 温 安 定 性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。	合格	
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと。	合格	
付着強さ N/mm ²	標準状態	0.7以上(複層塗材E)	1.5
	浸水後	0.5以上(複層塗材E)	1.3
付着強さ N/mm ²	標準状態	1.0以上(複層塗材RE)	1.3
	浸水後	0.7以上(複層塗材RE)	1.0
温 冷 繰 返 し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格	
透水性B法(ml)	0.5以下	0.1	
耐 衝 撃 性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格	
耐 候 性 A 法	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。	合格	

施工上の要点と注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

1. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
2. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
3. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
4. 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
5. JIS A6021の下塗りとしての適性はありません。
6. 劣化の著しい外部木部については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けて下さい。
7. 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
8. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
9. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
10. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
11. 動物はけは、はけが固まったリグマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
12. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
13. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
14. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご確認ください。
15. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
16. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
17. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
18. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、

- コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
19. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペ1材フィラー#200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
 20. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
 21. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
 22. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
 23. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
 24. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
 25. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則として行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
 26. プレハブ住宅の場合、定形シーリング(ガスケット部)に塗装すると、可塑性の移行により汚染が発生しますので塗装しないでください。
 27. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
 28. 可塑性が多く含まれる塩ビクロス、塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
 29. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
 30. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
 31. 塗料は内容物が均一になるようによくは混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて底の沈降物を十分にかきはんしてご使用ください。
 32. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
 33. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
 34. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
 35. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

- 本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-C020

UD240101T

2024年1月現在